

さびしい干潟

■少ない干潟内の鳥

2015年最初の調査である。石の下ではカワザンショウガイ (Fig.1)やフナムシ (Fig.2)の越冬が観察できた。雪もなく穏やかな干潟であるが、七北田川河口導流堤より北側の干潟内にはほとんど鳥の姿が見られない。Fig.3は蒲生干潟全景を13枚の写真から合成したものであるが、シギやチドリの仲間がまったく見られない。河口域にウヤウミネコ、ユリカモメ (Fig.4)、カモの仲間が見られるのみである。餌となるゴカイの仲間 (Fig.5)は存在しているが、十分な量ではないのかもしれない。

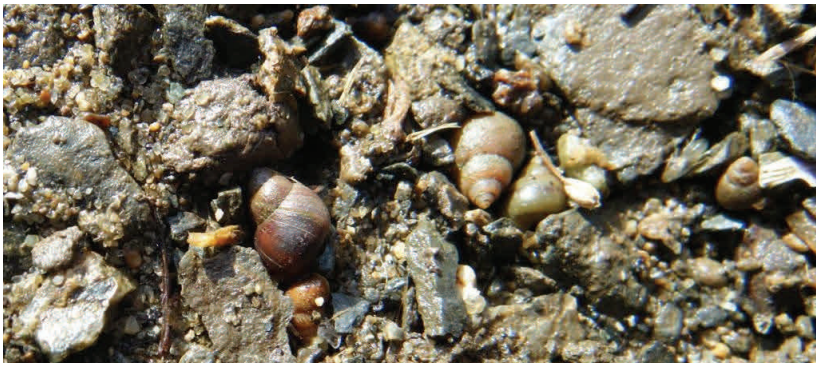


Fig.1 石の下で越冬中のカワザンショウガイ



Fig.2 石の下で越冬中のフナムシ, トビムシ

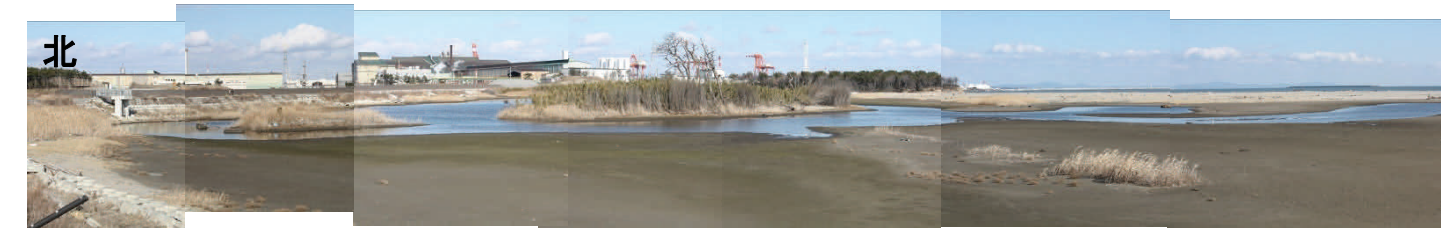


Fig.3 蒲生干潟全景



Fig.4 河口のユリカモメ



Fig.5 ゴカイの仲間の巣穴